



# 第6回 長崎大学病院 ICLSコース報告書



長崎大学病院は、救急医療教育の一環として、全研修医の日本救急医学会認定『ICLSアシスタントインストラクター』資格取得を目指しております！

**平成27年2月21日(土)開催**

**共催：長崎シミュレーション教育研究会  
長崎大学病院 医療教育開発センター  
救急医療教育室**  
**協力：日本光電九州株式会社**

## コースの目的

本コースは、初期研修医の救命医療における知識と技術の向上を目的として開催した。

## ICLSとは

日本救急医学会が主催、または「コース認定」をして行う、医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。心臓血管系の緊急病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標とした、実技実習を中心としたコースです。受講者は少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。身につける行動の目標は以下の通りです。

- 蘇生を始める必要性を判断でき、行動に移すことができる
- BLS(一次救命処置)に習熟する
- AED(自動体外式除細動器)を安全に操作できる
- 心停止時の4つの心電図波形を診断できる
- 除細動の適応を判断できる
- 電気ショックを安全かつ確実に行なうことができる
- 状況と自分の技能に応じた気道管理法を選択し実施できる
- 気道が確実に確保できているかどうかを判断できる
- 状況に応じて適切な薬剤を適切な方法で投与できる
- 治療可能な心停止の原因を知り、原因検索を行動にできる

## 実施結果

受講生12名が当コースを修了し、ICLSアシスタントインストラクターの資格を得た。

また、スタッフ(コースディレクター2名、インストラクター4名、アシスタントインストラクター7名)計13名で指導を行い、2ブースを問題なく運営した。

※スタッフ詳細はP.4



◆実施内容◆

開催日時	平成27年2月21日(土) 9:20～17:05		
受講者数	12名		
対象	研修医		
場所	長崎大学病院 シミュレーションセンター、リハビリ室、第四会議室		
<b>スケジュール</b>			
		グループ(1)	グループ(2)
9:00～9:20	0:20	受付	
9:20～9:30	0:10	オリエンテーション	
9:30～10:05	0:35	BLS+AED	
10:05～10:15	0:10	休憩・移動	
10:15～11:15	1:00	気道管理(A)	モニター(B)
10:15～10:25	0:10	休憩・移動	
11:25～12:25	1:00	モニター(B)	気道管理(A)
12:25～13:15	0:50	昼食	
13:15～13:20	0:05	BLS・ALSデモンストレーション	
13:20～14:30	1:10	チーム蘇生(B)	チーム蘇生(A)
		VF/VT	VF/VT
14:30～14:40	0:10	休憩	
14:40～15:25	0:45	non VF/VT (A)	non VF/VT (B)
15:25～15:40	0:15	休憩・移動	
15:40～16:40	1:00	メガコード(A)	メガコード(B)
16:40～17:05	0:15	終了式・修了証授与式	

◆アンケート◆  
受講者からの声

あいまいなままだった蘇生の知識を一連の動きを固めることができ、以前よりスムーズにかつ迷いなく動けるようになった。普段、CPAに出会うようなことが、ほとんどないため、とてもいい機会になりました。

基本的なBLSを確認でき、優先順位が分かったので、素早く役割を見つけられると思う。

ACLSのそれぞれのアルゴリズムに対して、ある程度自然に体を動かせるようになったと思う。

知識、技術の再確認ができ、自信を持つことができた。実際に現場にであっても、スムーズに体が動くことができると思う。

チーム蘇生の方法を学ぶことによって、チームの一員として自分の役割を果たしやすくなった。リーダーになるのはまだまだ難しいと感じた。

学びやすい環境づくりに努めておられて、毎回のフィードバックがとても役に立つ内容ばかりで、とても勉強になりました。

学びあり、笑いありでとても楽しく、とてもリラックスして受講できました。その瞬間に一番大切なことは何かという事のポイントを明確に教えて頂きました。



## ◆アンケート◆ スタッフの声

### 1) 受講者の態度・意欲はどうだったか？

- ・みなさん積極的に取り組めていました。2名
- ・最後は真剣な顔になっていました。
- ・良かったです。3名
- ・最初は消極的だったが、だんだん声も出て来て盛り上がってよかった。
- ・全体的に良かったが、最後は気が抜けたのかBLSの手技ができていなかった。
- ・熱心にはしていたが、途中で変に慣れている印象があった。
- ・意欲はあった。仲が良かったため、緊張感がやや欠けていた。



### 2) 予備知識(予習含む)はどうだったか？

- ・知識はあるのに、やはり実践でそれを引き出すのが難しそうでした。
- ・ほぼ問題ないようでした。2名
- ・充分であった。
- ・個人差はあるも、前回より良かった。2名
- ・前回、前々回よりもあったと思う。
- ・研修医としては充分だったのではないかと思う。
- ・今一つでしたが、最低限はOKでした。



### 3) ディレクター、インストラクター、アシスタント、チューターの指導はどうだったか？

- ・非常にやる気があった。熱心な方が多く、大変助かりました。
- ・良かったです。5名
- ・上手でした。勉強になりました。
- ・気配り良く、楽しく参加されていたようです。手助けもして頂いて助かりました。
- ・ブース長を中心にまとまりをもって指導できていたと思う。2名
- ・的確に、ICLSの目的を意識してフィードバックしていた。
- ・良かった。説明の仕方など参考にしたい。
- ・もう少し声を大きくしても良い。



### 4) 今後について、ひとこと

- ・次はインストラクターを取得して貢献したいです。2名
- ・また、アシスタントで参加して勉強します。
- ・さらに質を高めて継続して行ってほしい。
- ・頑張ってください。
- ・3ブースの運営を頑張りたい。
- ・今後ともよろしくお祈りします。2名



### ●改善点●

- ・VF/VT、PEA、ASYSのコートでも、BLSをしっかりと指導が必要です。
- ・BLSの時間を増やせるといいと思う。

## 準備する資機材リスト(2ブース分)

資機材名	必要数	備考
ハートシム、操作用PC	3	予備の1台を含む
レサシアン	4	1ブースに2
バックバルブマスク	2	
AEDトレーナー	4	複数機種 (うち1台、本物のAEDを日本光電から借用)
気道管理トレーナー	2	
モニター付き除細動器	2	単相性と二相性を1台ずつ (1台は日本光電から借用)
気道管理ボックス	2	各ブースに1箱ずつ
内訳)		
注射器10ml		
バイトブロック		
吸引チューブ		
エアウエイ		
経鼻エアウエイ		
聴診器		
ポケットマスク		
喉頭鏡(4.0)		
喉頭鏡柄		
チューブ固定具		
酸素マスク		
酸素カニューラ		
挿管チューブ		
スタイレット		
CO2チェッカー		
テープ		
点滴	2	各ブースに1つずつ
点滴スタンド	2	各ブースに1つずつ
ワゴン	2	
骨髄針	1	気道管理ブース
聴診器	2	
アルコール綿	多めに	
タオル	4	
ホワイトボード	2	
ホワイトボードマーカー4色	8	
ストップウォッチ	2	
メトロノーム	2	
延長コード	4	



**長崎大学病院  
医療教育開発センター**

〒852-8501

長崎市坂本1丁目7番1号

電話 (095) 819-7881

FAX (095) 819-7882